

2012年度 第2四半期 決算説明会

富士フイルム ホールディングス株式会社

2012年10月31日

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

2012年度上期 決算 概要

FUJIFILM

2012年度第上期 決算 概況

- ・ 円高影響による売上減(203億円)、営業利益減(64億円)
- ・ 欧州の景気悪化による需要減
- ・ モニター市場の低迷と、それに伴う市場の在庫調整によるフラットパネルディスプレイ材料の需要減
- ・ メディカルシステム・ライフサイエンスは堅調に推移

厳しい事業環境により
前年同期比で減収減益

2012年度上期 業績 (2012年4月～2012年9月)

(単位:億円)

	2011年度上期	2012年度上期	対前年度
売上高	10,834 100.0%	10,616 100.0%	-218 -2.0%
営業利益	590 5.4%	423 4.0%	-167 -28.4%
税金等調整前 四半期純利益	327 3.0%	330 3.1%	3 +0.7%
当社株主帰属 四半期純利益	149 1.4%	105 1.0%	-44 -29.7%
1株当たり 当社株主帰属 四半期純利益	30.93円	21.74円	-9.19円
為替 :米ドル :ユーロ	80円 114円	79円 101円	1円高 13円高

3

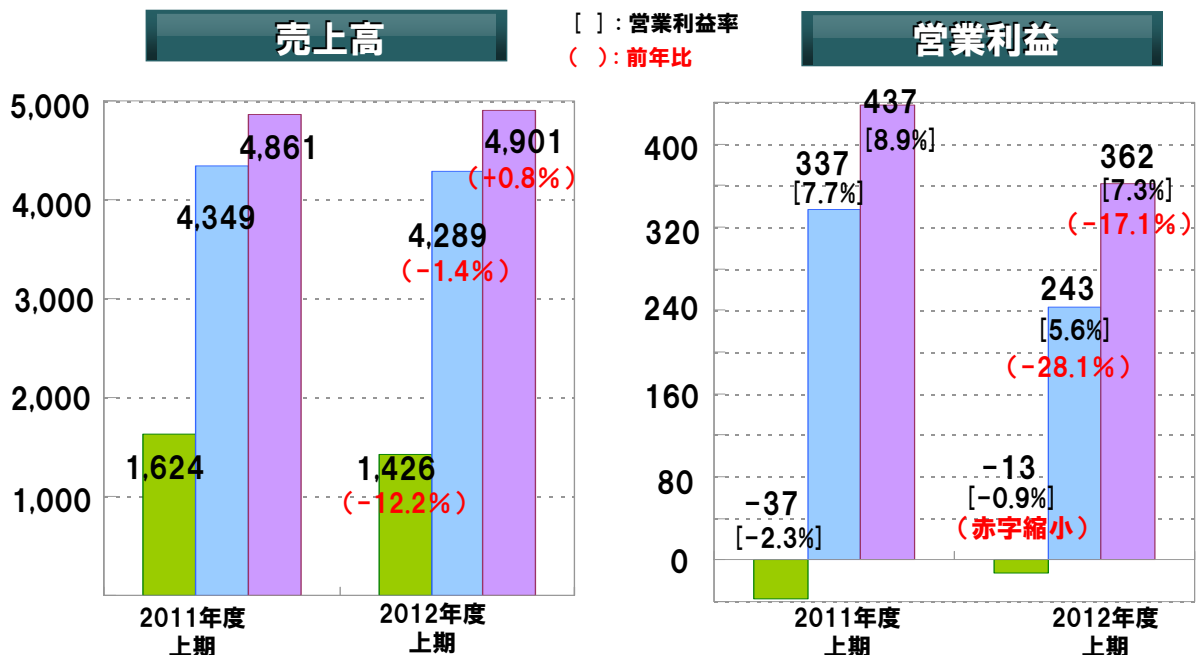
セグメント別:連結売上高/営業利益

■ イメージングソリューション ■ インフォメーションソリューション ■ ドキュメントソリューション

単位:億円

[] : 営業利益率

() : 前年比



* セグメント間取引消去後

4

セグメント別 概況

■ イメージング ソリューション

- ・フォトイメージングでは、カラーペーパーなどのプリント材料製品の販売が堅調に推移。
- ・特にカラーペーパーは、世界各国で他社からの切替が進み販売が好調。
- ・コンパクトデジタルカメラは、総需減の影響により売上が減少したものの、台数シェアは上昇。

減収であったものの
フォトイメージングが好調に推移し、損益改善

セグメント別 概況

■ インフォメーション ソリューション

- ・フラットパネルディスプレイ材料は、VA用フィルム・IPS用フィルムの販売が好調に推移。プレーンタック(60 μ)の拡販が進んだが、モニター市場の低迷とそれに伴う市場在庫調整の影響を受けWVフィルムが低調に推移し、売上が減少。
- ・メディカルシステムでは、医用画像ネットワークシステムなどの販売が好調、また携帯型超音波診断装置メーカー「ソノサイト」の連結子会社化により売上が増加。医薬品は富山化学や富士フィルムファーマの売上が増加。化粧品は「新アスタリフト」を拡販したことなどにより、国内販売が好調に推移。
- ・電子材料で引き続き売上が増加。グラフィック、記録メディア、光学デバイスは売上が減少。

メディカル・ライフサイエンスは好調だったものの
部門全体で減収減益

セグメント別 概況

■ ドキュメント ソリューション

- ・部門全体で国内、アジア・オセアニア地域のいずれも売上が増加。
- ・オフィスプロダクトの国内では、カラー機、モノクロ機ともに販売台数が増加し、市場における稼働台数及びコピー枚数も増加。
- ・グローバルサービスは、国内において2桁の増収。
- ・欧州景気悪化や円高等の影響を受け減益。

増収を確保したものの
欧州景気の悪化による影響等を受け減益

7

連結貸借対照表

(単位:億円)

	10年度末	11年度末	12年9月末	対11年度末		10年度末	11年度末	12年9月末	対11年度末
現金及び現金同等物	3,131	2,351	3,141	790	長短社債及び借入金	1,896	1,989	2,751	762
受取債権	5,022	5,565	4,929	-636	支払債務	2,614	2,584	2,211	-373
棚卸資産	3,422	3,780	3,887	107	その他流動固定負債	4,069	4,259	3,983	-276
有価証券 その他流動資産	1,533	1,524	1,596	72	負債計	8,579	8,832	8,945	113
流動資産計	13,108	13,220	13,553	333	株主資本計	17,225	17,218	16,900	-318
有形固定資産	5,641	5,539	5,371	-168	非支配持分	1,284	1,347	1,371	24
営業権	3,444	3,935	3,705	-230	純資産計	18,509	18,565	18,271	-294
投資有価証券 その他資産	4,895	4,703	4,587	-116	負債・純資産 合計	27,088	27,397	27,216	-181
固定資産計	13,980	14,177	13,663	-514					
資産合計	27,088	27,397	27,216	-181					

(単位:円)

期末日 為替レート	10年度末	11年度末	12年9月末	対11年度末
米ドル	83	82	78	4円高
ユーロ	118	110	100	10円高

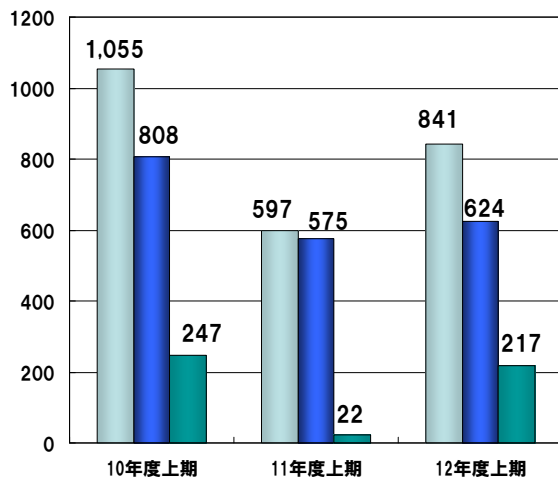
8

キャッシュフロー

(単位:億円)

- 営業活動によるキャッシュフロー
- 投資活動によるキャッシュフロー
- フリーキャッシュフロー

(単位:億円)



	10年度 上期	11年度 上期	12年度 上期
四半期純利益	449	215	175
減価償却費	768	704	669
受取債権の増(-)減(+)	74	15	497
棚卸資産の増(-)減(+)	-349	-191	-170
営業債務の増(+)-減(-)	-40	-160	-279
未払法人税等他負債の増(+)-減(-)	-67	-160	-192
その他	220	174	141
営業活動によるCF	1,055	597	841
設備投資	-485	-510	-446
ソフトウェアの購入	-85	-98	-89
有価証券・投資有価証券等の 売却・購入	-129	151	100
その他	-109	-118	-189
投資活動によるCF	-808	-575	-624
フリーキャッシュフロー	247	22	217
営業活動によるCF+設備投資	570	87	395

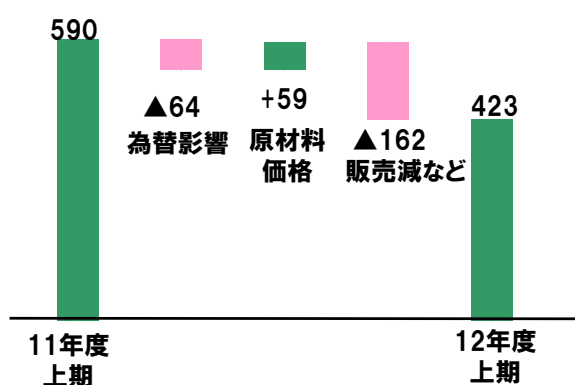
2012年度 第2四半期 決算説明会

参考資料

11

2012年度 第2四半期決算説明会 参考資料

営業利益 増減要因



(単位:億円)

2011年度上期	2012年度 上期			実績
	為替影響	原材料価格	販売増減など	
590	▲64	+59	▲162	423

	2011年度上期 (平均)	2012年度上期(平均)	対前年度
為替			
米ドル	80円	79円	1円高 (1.3%高)
ユーロ	114円	101円	13円高 (11.4%高)
原材料			
銀	99,000円/Kg	76,000円/Kg	▲23,000円/Kg (▲23.2%)

12

2Q/上期 業績

(単位:億円)

売上高	2011年度		2012年度		対前年度(上期)
	2Q	上期	2Q	上期	
イメージング ソリューション	807	1,624	690	1,426	-198 (-12.2%)
インフォメーション ソリューション	2,169	4,349	2,271	4,289	-60 (-1.4%)
ドキュメント ソリューション	2,557	4,861	2,472	4,901	40 (+0.8%)
合計	5,533	10,834	5,433	10,616	-218 (-2.0%)

*セグメント間取引消去後

(単位:億円)

営業利益	2011年度		2012年度		対前年度(上期)
	2Q	上期	2Q	上期	
イメージング ソリューション	-24	-37	-36	-13	24 (赤字縮小)
インフォメーション ソリューション	139	337	168	243	-94 (-28.1%)
ドキュメント ソリューション	257	437	171	362	-75 (-17.1%)
全社/連結調整	-72	-147	-89	-169	-22
合計	300	590	214	423	-167 (-28.4%)

13

2Q/上期 セグメント別 業績

■ イメージング ソリューション

(単位:億円)

売上高	2011年度		2012年度		対前年度(上期)
	2Q	上期	2Q	上期	
フォトイメージング	513	1,010	481	959	-51 (-5.1%)
電子映像	294	614	209	467	-147 (-23.9%)
合計	807	1,624	690	1,426	-198 (-12.2%)

*セグメント間取引消去後

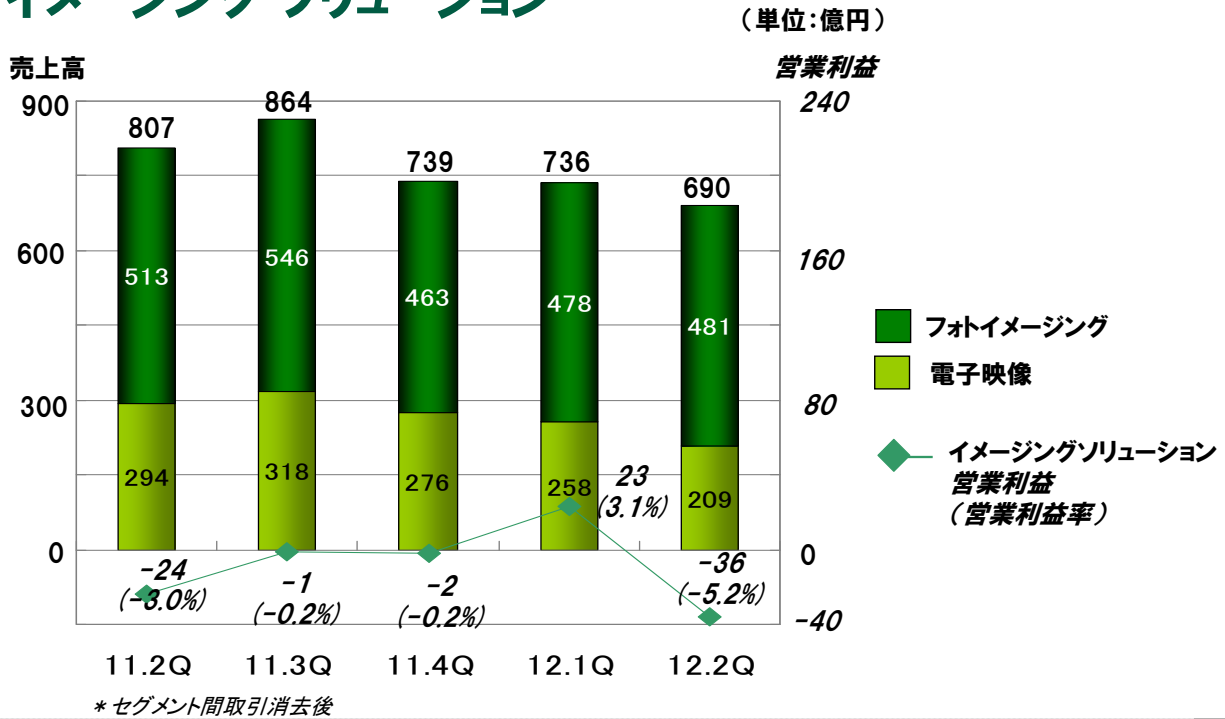
(単位:億円)

営業利益 [営業利益率]	2011年度		2012年度		対前年度(上期)
	2Q	上期	2Q	上期	
イメージング ソリューション	-24 [-3.0%]	-37 [-2.3%]	-36 [-5.2%]	-13 [-0.9%]	24 (赤字縮小)

14

セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

■ イメージング ソリューション



第2四半期 セグメント別 業績

■ イメージング ソリューション

フォトイメージング

- プリント材料製品が堅調に推移。世界各国で他社からの切替が進んだカラーペーパーは好調。
- 日本・欧州・米州・豪州などの主要国でフォトブックを中心とした付加価値プリントが増加したことも、カラーペーパーの販売好調に寄与。

電子映像

- コンパクトデジタルカメラの需要減の影響を受け、売上は減少したものの、台数シェアは上昇。
- Photokina2012でレンズ交換式プレミアムカメラ「X-E1」とプレミアムコンパクトデジタルカメラ「XF1」、及び交換レンズ2種を発表。
「X-E1」はPhotokina Star賞、「XF1」は「グッドデザイン賞」を受賞。

2Q/上期 セグメント別 業績

■ インフォメーション ソリューション

(単位:億円)

売上高	2011年度		2012年度		対前年度(上期)
	2Q	上期	2Q	上期	
メディカルシステム ライフサイエンス	726	1,338	827	1,504	166 (+12.4%)
グラフィックシステム	597	1,174	555	1,108	-66 (-5.6%)
フラットパネルディスプレイ	393	927	376	748	-179 (-19.3%)
記録メディア	115	235	94	192	-43 (-18.3%)
産業機材/電子材料他	202	400	294	496	96 (+24.0%)
光学デバイス	136	275	125	241	-34 (-12.3%)
合計	2,169	4,349	2,271	4,289	-60 (-1.4%)

*セグメント間取引消去後

*2011年度3Qよりグラフィックシステム・産業機材において一部事業移管があり、2011年度の数字もリスタートしております。

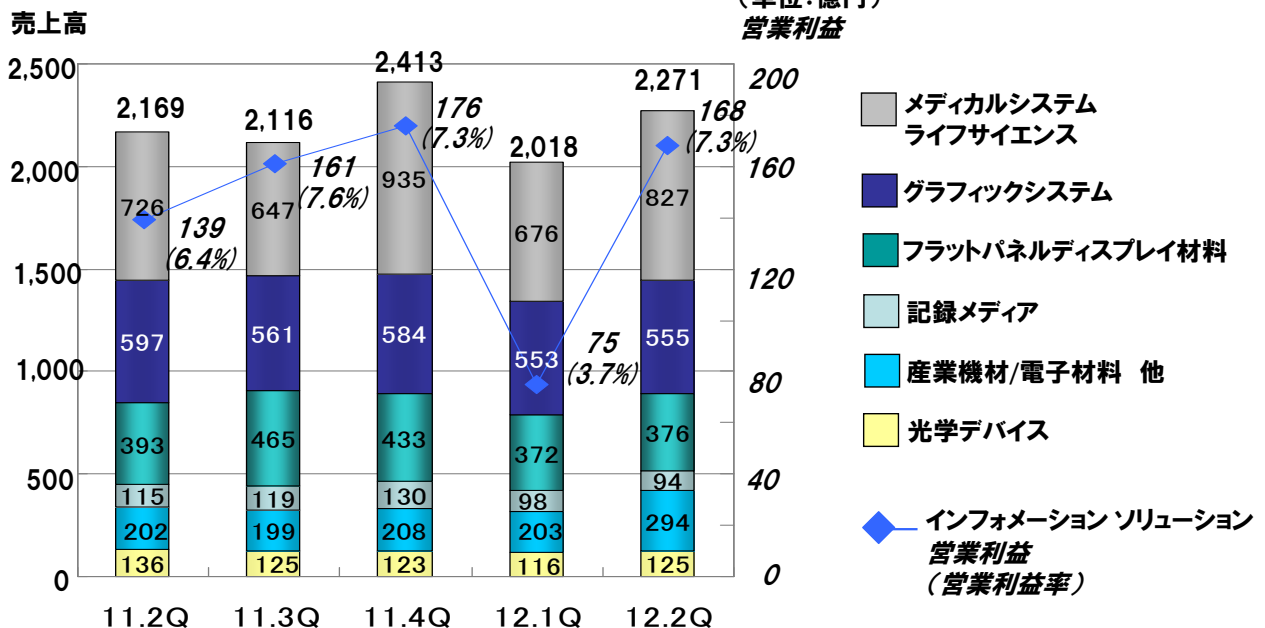
(単位:億円)

営業利益 [営業利益率]	2011年度		2012年度		対前年度(上期)
	2Q	上期	2Q	上期	
インフォメーション ソリューション	139 [6.4%]	337 [7.7%]	168 [7.3%]	243 [5.6%]	-94 (-28.1%)

セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

■ インフォメーション ソリューション

(単位:億円)



*セグメント間取引消去後

*2011年度3Qよりグラフィックシステム/産業機材において一部事業移管があり、2011年度の数字もリスタートしております。

第2四半期 セグメント別 業績

■ インフォメーション ソリューション

メディカルシステム・ライフサイエンス

【メディカルシステム】

- ネットワークシステム分野の売上が増加。医療用画像情報ネットワークシステム「SYNAPSE」は国内約1,800の医療施設に導入されトップシェアを維持。また、欧州でも大型入札を獲得。
- 小型FCR「FCR PRIMA T」、また高画質経鼻内視鏡の販売が好調に推移。
- 携帯型超音波診断装置メーカー「ソノサイト」の連結子会社化により売上が増加。

【医薬品】

- 富山化学は「ソシン」「オゼックス細粒」等の販売が好調に推移し、売上が伸長。また、抗リウマチ薬「コルベット錠(T-614)」を2012年9月12日より販売開始。
- 富士フィルムファーマは、バイエル薬品より専売権を獲得した薬剤の販売を9月より開始。

【ライフサイエンス】

- 7月25日より新スキンケアシリーズ「ルナメア」を発売、また9月より化粧品「新アスタリフト」シリーズを発売。特にメイン商品である美容液「エッセンス デステニール」は好調に推移。

第2四半期 セグメント別 業績

フラットパネルディスプレイ材料

- ブレーンタック(60μ)の売上増。またVA用フィルム・IPS用フィルムも販売が好調。
- モニター市場の低迷とそれに伴う市場の在庫調整により、WVフィルムの売上が減少。

グラフィックシステム

- 主力の刷版材料が北米や欧州・中国などで好調に推移し、シェアも拡大。
- 欧州景気の影響を受け、デジタルプリンティング機器などの大型機の商談のずれ込みが発生。

記録メディア

- 為替の円高影響や、業務用ビデオの販売が総需減などの影響を受けて減少したことにより、売上が減少。

産業機材/電子材料 他

- 工業用X線フィルムの販売が好調に推移。
- ArF液浸レジスト、イメージセンサー用カラーモザイクなどの販売が好調で売上が増加。
- 有機ELの特許収入(83億円)。

光学デバイス

- 携帯電話用カメラレンズの販売が減少したことなどにより、売上が減少。

2Q/上期 セグメント別 業績

■ ドキュメント ソリューション

(単位:億円)

売上高	2011年度		2012年度		対前年度(上期)
	2Q	上期	2Q	上期	
オフィスプロダクト	1,258	2,421	1,230	2,461	40 (+1.7%)
オフィスプリンター	417	787	387	789	2 (+0.3%)
プロダクションサービス	421	772	369	714	-58 (-7.5%)
グローバルサービス	250	464	270	508	44 (+9.5%)
その他	211	417	216	429	12 (+2.9%)
合計	2,557	4,861	2,472	4,901	40 (+0.8%)

*セグメント間取引消去後

*2012年度よりオフィスプロダクト・プロダクションサービスにおいて商品分類の組み換えを行っており、2011年度の数字についてもリステートしております。

(単位:億円)

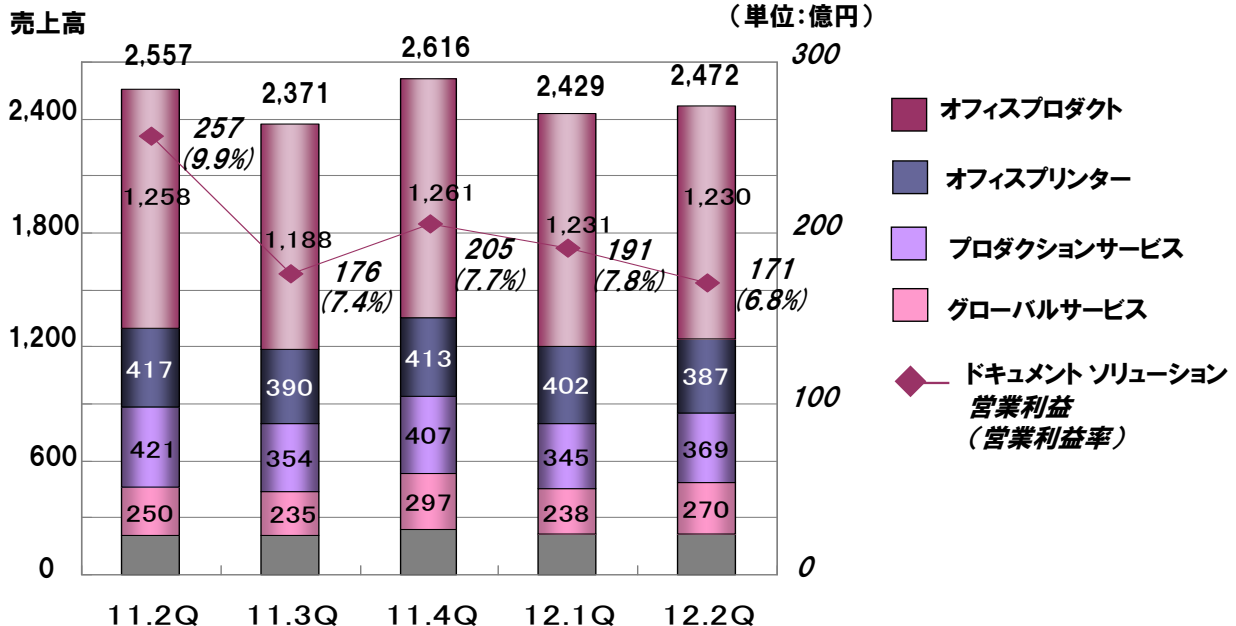
営業利益 [営業利益率]	2011年度		2012年度		対前年度(上期)
	2Q	上期	2Q	上期	
ドキュメント ソリューション	257 [9.9%]	437 [8.9%]	171 [6.8%]	362 [7.3%]	-75 (-17.1%)

セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

■ ドキュメント ソリューション

営業利益

(単位:億円)



*セグメント間取引消去後

*2012年度よりオフィスプロダクト・プロダクションサービスにおいて商品分類の組み換えを行っており、2011年度の数字についてもリステートしております。

第2四半期 セグメント別 業績

■ ドキュメント ソリューション

オフィスプロダクト

- 国内は、カラー機、モノクロ機ともに販売台数が増加、コピー枚数の増加等により消耗品及び保守サービス売上が増加。
- アジア・オセアニア地域は、6月発売の「DocuCentre S2010/S1810」の好調により、モノクロ機の販売台数が大幅に増加し、カラー機も増加。

オフィスプリンター

- 米国ゼロックス社向け輸出は、低速機の伸長により出荷台数が大幅に増加。
- アジア・オセアニア地域は、モノクロ機の販売台数が減少したが、カラー機の販売台数は増加。

プロダクションサービス

- アジア・オセアニア地域において、カラー・オンデマンド・パブリッシング・システムの販売好調により販売台数が増加。

グローバルサービス

- 国内、アジア・オセアニア地域ともに売上が増加し、国内においては2桁増収。

国内・海外別連結売上高

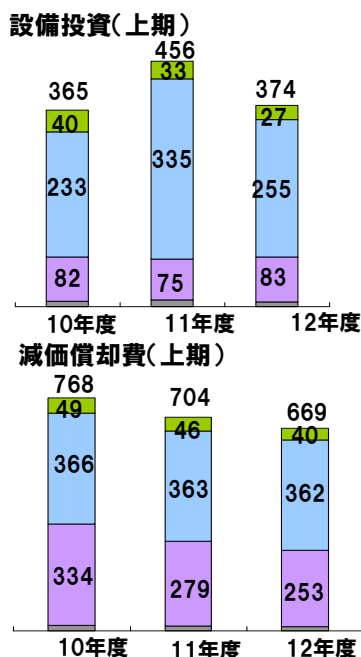
(単位:億円)

	2011年度 上期		2012年度 上期		対前年度
	構成比 (%)		構成比 (%)		
日本	45.0%	4,873	45.4%	4,814	-59 (-1.2%)
米州	16.9%	1,833	18.1%	1,920	87 (+4.7%)
欧州	12.3%	1,335	11.3%	1,205	-130 (-9.8%)
内、中国	9.4%	1,023	8.8%	930	-93 (-9.1%)
アジア他	25.8%	2,793	25.2%	2,677	-116 (-4.1%)
海外	55.0%	5,961	54.6%	5,802	-159 (-2.7%)
合計	100.0%	10,834	100.0%	10,616	-218 (-2.0%)

設備投資、減価償却費

- イメージングソリューション
- インフォメーションソリューション
- ドキュメントソリューション
- コーポレート

(単位:億円)



	2010年度			2011年度			2012年度		
	2Q	上期	年度	2Q	上期	年度	2Q	上期	年度(予想)
イメージング	23	40	81	2	33	92	17	27	-
インフォメーション	142	233	618	197	335	598	130	255	-
ドキュメント	66	82	195	54	75	193	59	83	-
コーポレート	9	10	5	11	13	26	6	9	-
設備投資 ※	240	365	899	264	456	909	212	374	1,000
イメージング	26	49	101	21	46	108	18	40	-
インフォメーション	172	366	774	188	363	763	183	362	-
ドキュメント	168	334	658	137	279	575	126	253	-
コーポレート	17	19	38	9	16	32	6	14	-
減価償却費	383	768	1,571	355	704	1,478	333	669	1,500
有形固定資産の減価償却費 ※	259	511	1,066	229	452	966	221	430	1,000

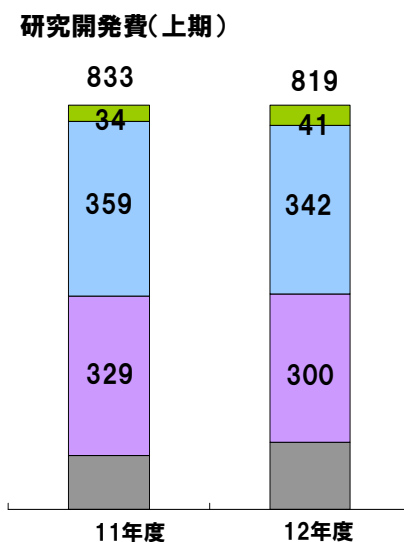
※ドキュメントソリューション部門のレンタル機器を除く。

25

研究開発費、販売費および一般管理費

- イメージングソリューション
- インフォメーションソリューション
- ドキュメントソリューション
- コーポレート

(単位:億円)



	2011年度			2012年度		
	2Q	上期	年度	2Q	上期	年度(予想)
イメージング	17	34	72	24	41	-
インフォメーション	184	359	769	174	342	-
ドキュメント	172	329	641	156	300	-
コーポレート	58	111	252	70	136	-
研究開発費	431	833	1,734	424	819	1,750
<売上高比>	7.8%	7.7%	7.9%	7.8%	7.7%	7.9%
販売費及び一般管理費	1,421	2,856	5,814	1,447	2,895	-
<売上高比>	25.7%	26.4%	26.5%	26.7%	27.3%	-

26

為替、為替感応度、人員

為替

(単位:円)

	2011年度						2012年度			
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	年度	1Q	2Q	上期	年度予想
米ドル	82	78	80	77	79	79	80	79	79	79
ユーロ	117	110	114	104	104	109	103	98	101	100

*2012年度 営業利益 為替感応度 米ドル:14億円、ユーロ9億円

人員

(単位:人)

	2011.9末	2011.12末	2012.3末	2012.6末	2012.9末
連結	81,387	81,316	81,691	80,155	79,845

27

富山化学工業(株) 新薬開発スケジュール

開発番号	薬効	地域*	開発段階					剤形
			非臨床試験	P I	P II	P III	申請	
T-705	抗ウイルス剤	日本						経口
		米国						
T-3811	ニュータイプのキノロン系合成抗菌剤	日本						注射**
		米国						経口/注射
		欧州						
T-817MA	アルツハイマー型認知症治療剤	米国						経口
T-5224	抗リウマチ剤	日本						経口
		海外						
T-2307	抗真菌剤	米国						注射
T-1106	抗ウイルス剤	日本						経口

* 海外については富士フィルムグループとして開発

** 経口剤は「ジェニナック」として発売

T-705は、日本においてP IIIが終了し、2011年3月30日に製造販売承認申請済み。

T-614は、2012年9月12日より販売開始。

28

2012年度 第2四半期 決算説明会

2012年度 通期業績予想と施策

代表取締役社長・COO
中嶋 成博

2012年10月31日

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

2012年度 通期業績予想



2012年度 連結業績予想 (2012年10月31日時点)

(単位:億円)

	2011年度	2012年度 (前回予想)	2012年度 (修正予想)	対前回予想	対前年度
売上高	21,953 100.0%	23,700 100.0%	22,100 100.0%	-1,600 -6.8%	147 +0.7%
営業利益	1,129 5.1%	1,400 5.9%	1,250 5.7%	-150 -10.7%	121 +10.7%
税金等調整前 当期純利益	892 4.1%	1,350 5.7%	1,050 4.8%	-300 -22.2%	158 +17.7%
当社株主帰属 当期純利益	438 2.0%	650 2.7%	450 2.0%	-200 -30.8%	12 +2.8%
1株当たり 当社株主帰属 当期純利益	90.84円	134.94円	93.42円	-41.52円	2.58円
為替 :米ドル :ユーロ	79円 109円	78円 103円	79円 100円	1円安 3円高	- 9円高

*2012年度 営業利益 為替感応度 米ドル:14億円、ユーロ9億円

下期 ドル円:78円、ユーロ円100円、銀価格 83,000円/kg

業績予想の前提となる下期のポイント

イメージングソリューション

- ・デジタルカメラ市場は総需(コンパクト中心)が減少しているが、ハイエンド機種を中心とした新製品を拡販し、経費も削減。
- ・販売が好調なフォトイメージングのカラーペーパーを引き続き拡販。

インフォメーションソリューション

- ・モニター市場の液晶パネル在庫調整が一段落し、FPD材料のWVフィルム需要が徐々に回復すると予想。また売上が急速に伸びているVA/IPS用フィルムの拡販。
- ・4Qが最大需要期であるメディカル・ライフサイエンスでの拡販や、産業材料での新製品投入などによる売上増加。

ドキュメントソリューション

- ・米国ゼロックス社向け輸出(特に欧州市場)の販売が減速しているものの、国内、アジア・オセアニア地域における拡販強化。

電子映像/FPD材料の売上挽回と
好調なフォトイメージング/メディカル・ライフサイエンス/産業材料での拡販、
また全社の徹底的な経費削減により達成

電子映像事業の下期重点施策

■販売戦略

- ・ 交換レンズの拡充とシステム提案によるレンズ交換式プレミアムカメラの拡販・シェアアップ
- ・ Xシリーズを中心とした、ハイエンドコンパクトデジタルカメラの新製品投入と拡販
- ・ 販売ルート・店舗数の拡大による、新規購入顧客の獲得
- ・ 顧客志向の徹底・浸透と、カスタマーサービス体制強化による顧客満足度の向上

■地域戦略

- ・ 新興国を中心とした現地法人設立による直販体制の構築と、ローカル人材の育成

■経費削減

- ・ さらなる原価低減と固定費の削減

FPD材料事業の下期重点施策

下期 重点施策

- 需要が拡大する薄手(40 μ)のプレーンタックのシェアアップ
- 中小型用薄手プレーンタック(25 μ)を年度内に量産化予定
- 売上順調なIPS用フィルムと、その対向プレーンタックの拡販
- VA用フィルムも売上が好調で、薄手化(40 μ)対応強化により更なるシェアアップ
- 新たに2ラインを稼働し、プレーンタック・IPS用フィルム・VA用フィルムの生産能力を増強。
特にVA用フィルムは既存ラインがフル稼働であり、販売を更に拡大

中長期 施策

- 需要が拡大する中小型向け薄手フィルムの開発
- WVフィルムの新規需要開拓（例: Ultrabook、TabletPCなど）
- 超広幅VAライン立ち上げによる、VAフィルムの更なる拡販

ドキュメント事業の下期重点施策

■商品・サービス

- グローバルサービス、プロダクションサービス及びソリューションサービス(一般オフィス向け)の強化と拡大
- 競争力の高い商品の拡販による売上の拡大
ApeosPort-IV/DocuCentre-IVシリーズなど
- Salmat Limitedのビジネスプロセスアウトソーシング事業の連結子会社化による収益貢献

■地域戦略

- 国内6地域に設立した統轄会社による広域マーケティング展開、及びお客様との関係性強化によるソリューション・サービスの提供拡大
- アジア・オセアニア地域での拡販、米国ゼロックス社と協業して新興国での拡販

■全チャネル、全事業領域における生産性改善等の体質強化による収益の向上

FUJIFILM

わたしたちは、先進・独自の技術をもって、
最高品質の商品やサービスを提供する事により、
社会の文化・科学・技術・産業の発展、
健康増進、環境保持に貢献し、
人々の生活の質のさらなる向上に寄与します。

富士フイルム ホールディングス株式会社

経営企画部 IR室

<http://www.fujifilmholdings.com>